

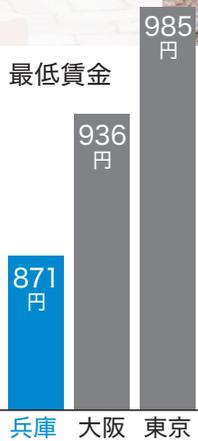


# くらしに希望をもてる神戸に

## 8時間働けばふつうに暮らせる社会に

いま兵庫県(神戸市)の最低賃金は時給871円。大阪936円、東京985円とくらべても低すぎます。普通に働き暮らせる社会をつくるために、最低賃金をただちに全国どこでも時給1000円に引き上げ、1500円をめざすことを提案しています。

神戸市も公契約条例で公共事業の賃金底上げを実施し、「ブラック企業おことわり宣言」で市内企業の残業抑制(月45時間上限をめざす)や非正規労働者の正社員化を応援するべきです。また市独自に中小企業支援や、介護や保育の労働者の賃金を月5万円上げるための補助金の増額を求めます。

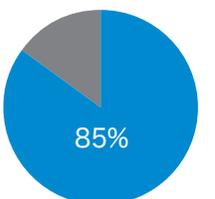


## くらしを支える安心の社会保障に

子どもの医療費は、兵庫県下35市町85%で「中学卒業まで医療費無料」になっています。神戸市では皆さんの願いが実り、所得制限はなくなりましたが、一部負担が残っています。国が無料化に踏み出せば、これまで確保した市の財源を活かして高校卒業までの無料化や、障害者(児)の福祉医療の無料化が可能です。

政令市トップクラスの高すぎる国民健康保険料の引き下げや、介護保険料の軽減、「減らない年金」制度や生活保護費の削減の中止など、国がその気になり、兵庫県や神戸市がスクラムを組めば、安心の社会保障が神戸から実現できます。

中学卒業まで医療費無料  
兵庫県下35市町



## お金の心配なく、学び、子育てできる社会を

神戸市の大学・短大生は24校7万人で、大阪市の2倍の学生が学んでいます。にもかかわらず賃金や待遇など経済的な理由から神戸を離れて東京や大阪に就職する学生が後を絶ちません。賃上げとともに、学費の軽減や給付奨学金の拡充が神戸経済の活性化にいまこそ必要です。

また、園庭のある認可保育所を増やして待機児童を解消することや、学校給食や高校教育の完全無料化など、お金の心配なく、学び子育てできる社会を神戸からつくみましょう。

声 毎年の市長と大学学長懇談より

「学生は神戸に就職したいという希望を持っているが就職先が見つからない」  
(神戸国際大学)

「500万円もの借金を背負って卒業する学生や、保護者が非正規で働いている家庭も多く経済的に苦しいので、奨学金の給付型も考えていただきたい」  
(神戸親和女子大学)

### 増税に頼らない財源対策

日本共産党は、大企業に中小企業並みに法人税負担を求めるとともに、富裕層の優遇是正などで7.5兆円の財源を生み出します。さらに、くらし応援の施策を実施することで、消費税3%減税と同じ経済効果を生み出すと提案しています。

また、神戸市の一般会計予算は8千億円。この2%程度の大型開発優先予算を見直すことで、医療費無料化や学費負担の軽減、国保料や介護保険料の引き下げが実現できます。

# 明日に 希望がもてる 神戸を

## 安倍政権いいなりの 「地域とくらし」切り捨ては許さない

安倍政権が進める——地域切り捨て政策（立地適正化計画）の神戸版「都市空間向上計画」の素案が公表されました。

ここでは、垂水区や西区の大半を切り捨て、神戸市自ら開発した団地（渦森、鶴甲、ひよどり

台、須磨ニュータウン、西神中央など）に対する責任を放棄しようとしています。

その一方、三宮都心部や利用者の多い駅周辺に、区役所や基幹病院を集約することで人口を誘導するとしています。

### 駅前への過密さらに加速

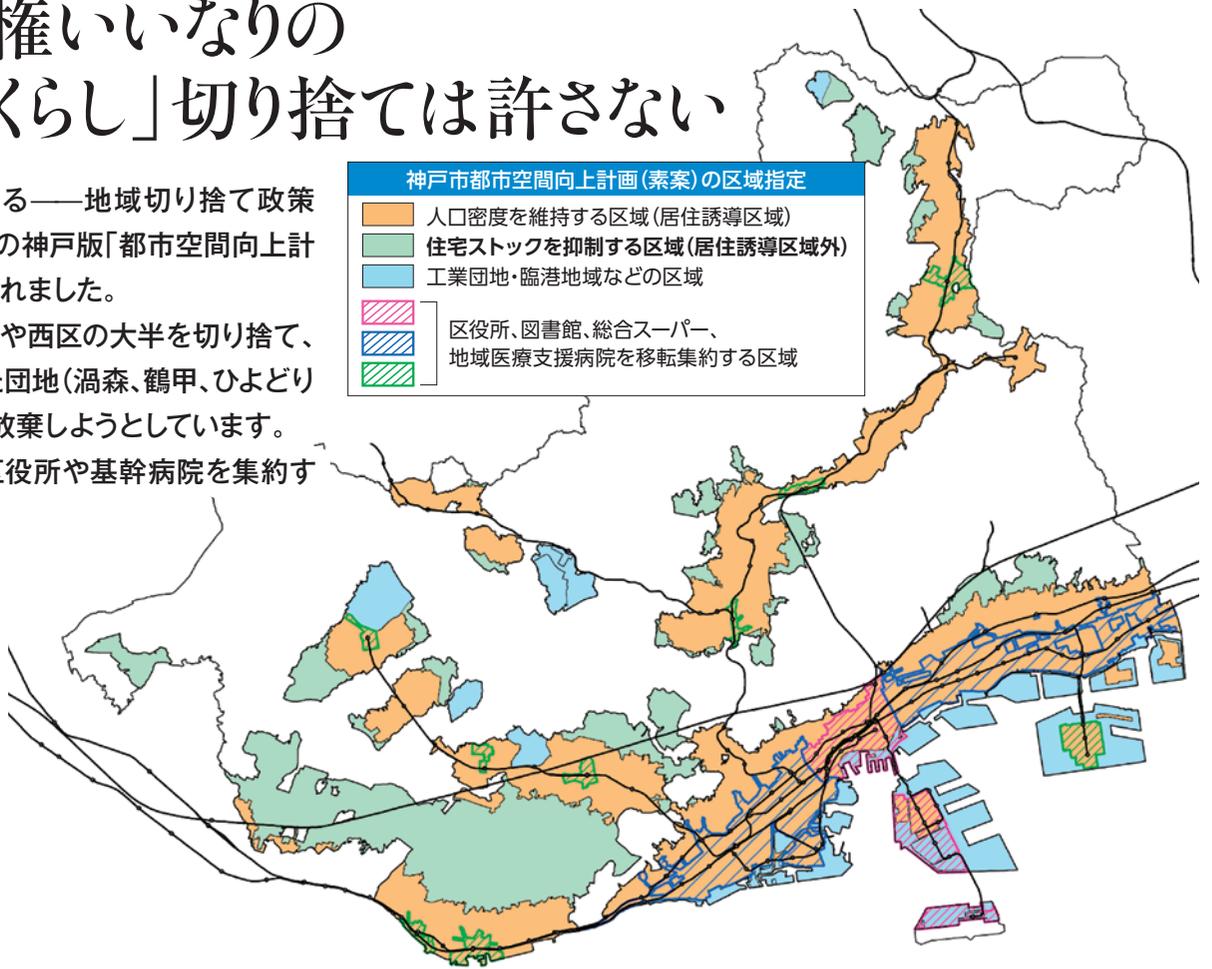
久元市長は「大阪のベッタタウンにしたいくない」などとして、三宮駅周辺のタワーマンション建設を規制する条例を議会に提案。しかし規制の目的は、都心部に巨大オフィスビルや商業施設を集中させるためです。一方で、垂水駅では逆にマンション規制を条例で緩和。「都市空間向上計画」を先取りした駅前再開発で、駅前過密と郊外切り捨てに拍車をかけようとしています。

### 敬老・福祉パスの改悪も

さらに久元市長は、敬老パス・福祉パスを「長期的に維持」すると称して見直し（改悪）をすすめる審議会を設置。安倍政権の年金改悪に歩調をあわせた高齢者や障害者のくらし破壊をすすめようとしています。

神戸市都市空間向上計画(素案)の区域指定

- 人口密度を維持する区域(居住誘導区域)
- 住宅ストックを抑制する区域(居住誘導区域外)
- 工業団地・臨港地域などの区域
- 区役所、図書館、総合スーパー、地域医療支援病院を移転集約する区域



市民意見募集や、「説明会・相談会」に、  
地域切り捨てストップの声を集中させよう

市民意見募集期間 7月9日～8月8日

意見提出方法や説明会・相談会の日程は神戸市のホームページまたは都市計画課  
078-322-5481に  
お問い合わせください



### 神戸市外国人に対する差別の解消と 多文化共生社会の実現に関する条例

#### 実現

「ヘイトスピーチ対策法(解消法)」の自治体の具体化にあたる同条例。日本共産党の松本のり子市議を筆頭に36名の市会議員が名を連ねた議員提案がなされ、6月5日に施行日など一部修正の上、全会一致で可決されました。



神戸市ホームページより

### 神戸市当局主導の「ヤミ専従」

#### 外郭団体にも波及

2005年に大阪市など全国で問題となり解消されたはずの労働組合の「ヤミ専従」が、神戸市役所では最近までつづいていました。日本共産党は議会できびしく追及。神戸市の当局が、強引な職員削減などすすめるために、外郭団体「新交通」を巻き込んで「ヤミ専従」が続くよう、市当局が「偽装工作」してきたことも明るみに出ています。引き続き真相糾明に全力をあげます。

### 議会の徹底改革

#### いじめ調査等特別委員会設置も提案

日本共産党神戸市会議員団は、市会議員の任期が替わる6月11日、議会運営の民主化をすすめる提案をおこないました。提案では、公費による海外視察や費用弁償の廃止などとともに、土日議会の開催や託児所の設置を要求。「いじめ自殺」「飛び降り」など教育に関する度重なる重大事案を調査するための特別委員会の設置を求めました。

## ブレない党だから実現できる 日本共産党 神戸市会議員団

こめられたネーミング  
歴史と理想が

日本共産党は、1922年の創立から、侵略戦争反対と国民権を主張。戦後は、旧ソ連の横暴勝手とも対決——反戦・平和の歴史がつまった党名です。人による人のさく取をなくし、労働時間をうんと短くして、誰もが自分の能力を自由に全面的に花ひらかせることができる未来社会——これが「共産党」にこめた私たちの理想です。

困っている人はほっとけない



日本共産党は、30万人いる党員が地域・職場・学校ごとに支部をつくり、市民の身近な要求を聴き取り、日本共産党神戸市会議員団が、県会議員、国会議員とも連携して、お困りごとの解決に全力で活動しています。

土砂災害現場に駆けつける味口としゆき市議と金田峰生党国会議員団兵庫事務所長

政治の歪みの大もとにズバリ

市民が苦しくても消費税を上げ、沖縄県民がノーといっても米軍基地建設を強行する安倍政権。こうした「財界の利益中心」「アメリカいいなり」という政治の歪みをただす主張を貫いている党だから、神戸でも「市民のための政治」実現に頑張れます。



- |  |  |   |  |   |  |  |   |  |
|--|--|---|--|---|--|--|---|--|
| <br>東灘区<br>松本のり子<br>TEL414-8875<br>総務財政委員<br>大都市特別委員 | <br>東灘区<br>西ただす<br>TEL414-8875<br>都市防災委員<br>市会運営委員 | <br>灘区<br>味口としゆき<br>TEL881-2581<br>文教子ども委員<br>市会運営委員会理事 | <br>兵庫区<br>大かわら鈴子<br>TELTEL577-7987<br>企業建設委員<br>阪神水道企業団議員 | <br>長田区<br>森本真<br>TEL642-0448<br>福祉環境委員<br>未来都市特別委員 | <br>北区<br>朝倉えつ子<br>TEL591-4755<br>文教子ども委員<br>外郭団体特別委員会理事 | <br>須磨区<br>山本じゅんじ<br>TEL732-6578<br>経済港湾委員<br>外郭団体特別委員 | <br>垂水区<br>今井まさこ<br>TEL753-5287<br>企業建設委員長<br>未来都市特別委員会理事 | <br>西区<br>林まさひと<br>TEL919-6650<br>都市防災副委員長<br>大都市特別委員会理事 |
|--|--|---|--|---|--|--|---|--|